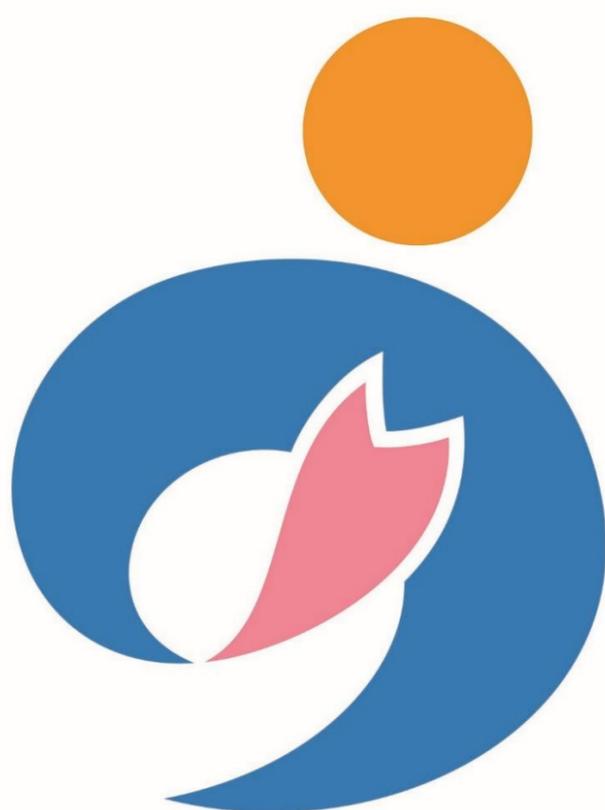


# 令和8年1月専決 予算事業説明書



## 福祉政策課



款	10	災害復旧費	項	5	民生施設災害復旧費	目	1	厚生労働施設災害復旧費	会計名	一般会計
事業名	1	福祉センター災害復旧事業						所属名	福祉政策課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①総合福祉センターしあわせ及びいこい荘 ②利用者					総合計画における位置づけ ⑧健康づくりの推進			
	意図 (対象をどうするか)	①地震による損傷個所の修繕を行い、安全で利用しやすい施設となっている。 ②安全に施設の利用ができ地域福祉及び健康増進が図られている。					「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)			
	成果の視点 (どのような効果があるか)	①地震による損傷個所の修繕を行うことで、引き続き安全且つ快適に施設を利用することができる。 ②多くの方が施設を利用する。					根拠法令・要綱等 南部町総合福祉センター条例			
予算状況		補正前の額	補正額	計						
		0 千円	2,255 千円	2,255 千円						

【提案理由】

令和8年1月6日発生の地震により損傷した箇所の修繕を行うための予算を補正する。

【事業内容】

総合福祉センターしあわせ・いこい荘の破損箇所の修繕

【状況】

施設名称	該当箇所	被害状況
総合福祉センターしあわせ	① プール(1階)	水風呂の角、繋ぎ目に2か所のひび割れ
	② トレーニングルーム(2階)	トレーニングルーム女子更衣室の壁紙の剥がれ
	③ 屋上	屋上冷温水クッションタンク配管と壁に隙間
総合福祉センターいこい荘	④ 廊下(事務室入り口)	廊下天井の照明ガードが一部落下
	⑤ ロビー	ロビー、廊下の壁の高い位置の石膏ボード約10cm四方剥がれ
	⑥ ロビー	ロビーの天井付近の柱と壁との接続部の剥がれ
	⑦ 事務室	壁にひび割れ
	⑧ 会議室	会議室エアコンのはめ込みと天井の繋ぎ目に5mm程度の隙間が空く
	⑨ 屋根	ともえ瓦の破損及び落下による瓦の破損

【対応策】

損傷個所を修繕する。

総合福祉センターしあわせ ①②572,000円、③330,000円 合計 902,000円

総合福祉センターいこい荘 ④～⑨ 合計 1,353,000円 合計 2,255,000円 (2,255千円)

歳入

15-2-2-1-9 老人福祉施設等災害復旧費補助金(補助率2/3:国1/3、県1/3、町1/3)

総合福祉センターしあわせ 601千円

総合福祉センターいこい荘 902千円 合計 1,503千円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-2-1	社会福祉施設等災害復旧費補助金	0	1,503	10 需用費	0	2,255
21-1-7-2	民生施設補助災害復旧事業債	0	700			
	一般財源	0	52			
	計	0	2,255	計	0	2,255

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

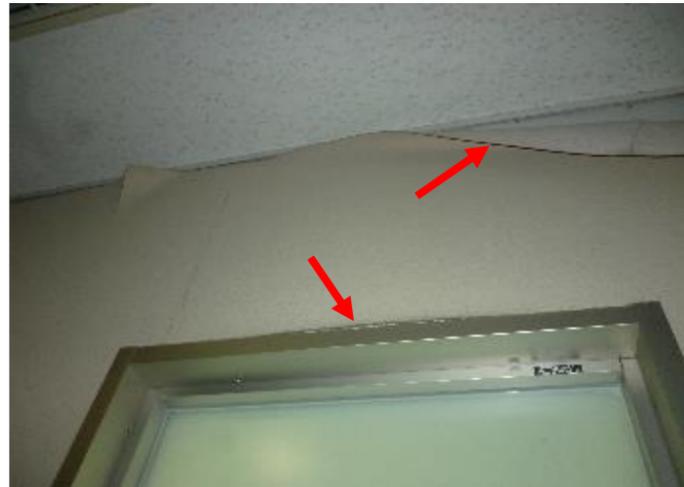
【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

地震による損傷個所の修繕を行うことで、利用者が安全で快適に施設を利用することができる。

【総合福祉センターしあわせ】



① プール（1階）



② トレーニングルーム（2階）



③ 屋上



【総合福祉センターいこい荘】



④ 廊下（事務室入口）



⑤ ロビー



⑥ ロビー



⑦ 事務室



⑧ 会議室



⑨ 屋根

款	10	災害復旧費	項	5	民生施設災害復旧費	目	1	厚生労働施設災害復旧費	会計名	一般会計
事業名	2	介護研修施設災害復旧事業						所属名	福祉政策課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①介護研修施設 ②利用者、利用団体						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	①地震による損傷個所の修繕を行い、安全で利用しやすい施設となっている。 ②安全に施設の利用ができ、介護ノウハウを習得し介護の負担が軽減している。						⑧健康づくりの推進		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	①修繕を行うことで、利用者が安全・快適に施設を利用することができる。 ②介護研修生の受け入れ研修の機会の提供、介護をする家族の負担軽減。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)		
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等				
		0 千円	231 千円	231 千円		南部町介護研修施設条例				

【提案理由】

令和8年1月6日発生地震により損傷した箇所の修繕を行うための予算を補正する。

【事業内容】

介護研修施設の破損箇所の修繕

【状況】

該当箇所	被害状況
①屋根	棟部付近の瓦の落下(1枚)
②階段	階段踊り場のプラスチック製窓の外れ及びひび割れ

①屋根



②階段



【対応策】

(落下した瓦)

損傷箇所を修繕する。

屋根修繕費+階段修繕費 = 合計231,000円 修繕費用 231千円を補正する。

なお、社会福祉施設等災害復旧費補助金は、対象金額が80万円以上のため当事業は該当しない。

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
21-1-7-2	民生施設単独災害復旧事業債	0	200	10 需用費	0	231
	一般財源	0	31			
	計	0	231	計	0	231

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

地震による損傷箇所の修繕を行うことで、利用者が安全で快適に施設を利用することができる。